

なかつか 亮



さらなる認可保育園の増設は急務！

4月入園(一次) 500名が保育園に入れられない事態



2月24日の区議会本会議で、共産党は今年4月の認可保育園入園状況を質問。一次入園発表で、希望する保育園に入園できない子ども達が500名にのぼることがわかりました。入園希望に対し、認可保育園増設が間に合っていない事態が改めて浮き彫りに。共産党は待機児解消に向け、さらなる認可保育園の増設を品川区に求めました。

― 予算区議会開催中 ―

区議会にて、今年4月の認可保育園入園申請者が1918人。その中で入園が内定した子どもは1418人。つまり入園が叶わなかった子どもの数は500人にのぼる事がわかりました。この中には、転園希望も若干含まれていますが、いずれにしても深刻な事態です。

3月2日に締め切られた二次募集は3歳児未満23人、3歳以上56人とわずかな枠。そもそも二次とは一次募集の空きが

基本ですので、西大井保育園や大井倉田保育園など交通の便が良い園は二次募集は0人です。

さらなる増設を

「保育園に入園できなければ仕事を失う」といった深刻な事態が依然として続いています。

新たな保育園増設も始まりましたが、希望数に追いついていないのが現状です。

認可保育園のさらなる増設で待機児解消を。子育てしやすい品川区を一緒に作りましょう。



大井第三区民集会所 入口の自動ドア工事が決定

(工事に伴う休館は下記参照)

23年度補正予算が3月5日の予算委員会で審議され、この中で大井第三区民集会所入口の自動ドア工事が計上されました。工事費用は421万円。区は「利便性を良くしたい」と説明します。

バリアフリー化が進んでいるが、実はここまで進むには少し経過がありますので紹介します。

もともと大井第三区民集会所には2階にあるエレベーターがなく、車イス利用者や高齢者からエレベーター設置の要望が強く寄せられていました。

地域住民は改善を求め、署名を区議会に提出。共産党もエレベーター設置を要望しました。当初、区は「建物

の構造上難しい」と拒んでいましたが、要望を受け04年度にエレベーター設置が進みました。

エレベーター工事が終わったものの、今度は集会所の入口が手動ドアのまま。「せっかく工事したのに、どうして入口だけ手動なの」と、改めて「入口を自動ドアにして欲しい」と区議会でも要望。区は「必ずしもすべて自動にしろという条例上の設定ではない」と何とも冷たい説明でしたが、ようやく今回の工事決定となりました。

工事は小さな規模ですが経過を見ると、区民の視点がたった自治体の姿勢が問われると思います。今後も地域の声を取り上げ、頑張ります。なかつか亮

大井第三区民集会所整備工事に伴う休館について

- ◆休館期間：平成24年8月1日～31日
- ◆工事内容：出入口自動扉及び外階段補強・塗装工事
- ◆地域センター業務は通常どおり実施
—委員会資料より抜粋—

原発いらない！ 品川パレードPART II

3月20日(火・祝日) 11時より荏原第五区民集会所／集会後、大井中央公園までパレードします／主催：原発いらない品川パレード実行委員会(新婦人など)／地域パレードに是非、参加を

次回の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

4月6日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
連絡先 昼：区議控室5742-6818 夜：事務所3773-3231